



10 ▶ 14  
 次期生乳安定生産  
 対策説明会  
 ～生産者に苦汁の選択を迫る～

1 20 女性部新年親睦会  
 ～部員、役職員との親睦を深めて～



1 26 手つなぎの会 視察研修  
 ～介護福祉に対する想いを学んで～



# 生乳の需給動向は暗く、次期生乳安定生産対策 生産者に苦汁の選択



道酪対では、脱粉やバターの過剰在庫、WTO交渉の行方等、今後の生乳需給動向は一層厳しくなることが予想され、これまでの増産型計画生産を大きく見直す次期生乳安定生産対策を決定した。

この状況を踏まえて、計根別農協では本対策の理解を求め、説明会と聞き取り調査を一月十～十一、十四日の三日間にわたり全組合員（酪農家）を対象に実施した。

説明会には、組合員約百二十名が出席。開会を告げる纏組組長の挨拶では「乳製品の伸び悩みで減産も止むを得ない。しかし、一律減産による生産者の新芽を潰す対応は絶対に避けたい。それぞれの経営タイプを尊重し、他に流されること無く、自分の意思で決定して欲しい」と話された。説明会に移ると生産販売事業部谷川部長から本対策の主旨や対策内容の詳細にわたり説明がなされた。

対策内容は「北海道酪農基盤維持対策」と称し、三ヶ年の期間を設け、全道目標数量を現時点の需給見透しから九十七%程度に抑えるというものだった。目標数量の設定にあたっては、生産者の拡大、縮小志向を尊重し、増産型Aタイプと減産型Bタイプに分けて取り進められる。出席者からの質疑では「目標数量のベースとなる前年実績（十一～十）は、その時期搾れなかった生産者には不利になる」「府県での生産調整に対する取り組み状況は？」「減産を希望するものがない場合は一律減産か？」「売れなかったもの（乳

製品など）は仕方ないが、今後は販売力を強化して欲しい」など生産者から現実問題を直視する貴重な意見が出された。

また、対策内容でのポイントとして「需給調整格差金」があり、増産を選択した生産者から拠出金を徴収し、減産する生産者へ支払われるという仕組みが講じられた。その格差金四円/kg（実質手取り二・九二円）をどう考えて増産、減産を選択するのか大きな鍵となりそうです。いずれを選択しても所得の減少は避けられない状況となり、生産者にとっては苦汁の選択を迫られる説明会となった。

今後は、一月末日までに全生産者の意向を確認し、農協や全道での調整が図られますが、今年から続く「北海道酪農基盤維持対策」は避けて通ることのできないものとなった。今こそ地域の結束力を高め、この大きな壁に立ち向かう覚悟が必要です。農協は勿論のこと組合員、役員が一体となって、この辛く厳しい三年間を耐え抜き、一日でも早く明るい兆しが差すことを願います。



説明会で険しい表情の生産者（中標津）



次期対策に理解を求め、纏組組長



資料を片手に今後の対策に悩む生産者（別海）

# 後継者の生産意欲を欠くことなく、今後の対応に期待

## JA計根別 青年部



勉強会を担当した計根別、西竹支部  
代表者 岡部支部長の開会挨拶



生産販売事業部 谷川部長が  
事業内容を説明

昨年の生乳需給状況は、飲用の消費低迷やバター、脱脂粉乳の過剰在庫を抱え、新年度からの生乳生産も減産の一途を辿る結果となった。

そこで青年部としては、この厳しい現実を酪農後継者である部員、特に若い世代に十分な理解を求め、今後の酪農経営を改めて考える機会を設けるべく、一月二十六日農協第二会議室にて「MILKをどう搾る？」と題した勉強会を開いた。

勉強会は、計根別、西竹支部の担当で開催され、部員三十名が参加した。講師には、生産販売事業部谷川部長を招き、乳代単価の仕組みや用途別販売乳量実績、そして勉強会のメインとなる次期生乳安定生産対策、酪農飼料基盤拡大推進事業についての説明を受けた。

質疑応答に移ると、「タイプAを選択した場合、十八年度実績が翌年の個人枠となるのか」「目標数量設定にあたり、昨年だけ実績を落とした酪農家は厳しい。過年度の平均なども考慮して欲しかった」「酪農後継者の生産意欲を欠くことだけは避けたい。フォロー体制を含めた農協の対応を期待する」との切実な思いが伝えられ、厳しい現状とその対応策を学ぶ貴重な勉強会となった。

## 乳製品のご紹介

“会葬品(スティックシュガー・パウダーセット)”

北海道農協青年部協議会では、乳製品の消費拡大を目的としてスティックパウダー入りシュガーセット(会葬品)を考案した。現在では、Aコープ計根別店での取扱商品として販売されており、乳製品消費拡大の一助となることを期待します。

### なぜクリーブなのか？

パウダーにもいくつかの商品がありますが、「どのパウダーも同じじゃないか？」と思われていませんか？実は、パウダーの大半は原材料にコーンシロップや植物性油脂などが使われています。しかし、クリーブだけは乳製品が使用されているため消費拡大になるのです。

〈会葬品〉

スティックシュガー  
パウダーセット

- 箱サイズ/224×130×20mm
- 入数/100
- 内容/スティックシュガー (6本×10本)
- パウダー (2本×5本)

**210円**  
(税込価格)

**200円**  
(消費税別)

スティックシュガー  
パウダーセット

- 箱サイズ/224×130×20mm
- 入数/100
- 内容/スティックシュガー (3本×15本)
- パウダー (2本×5本)

**315円**  
(税込価格)

**300円**  
(消費税別)

# 手作りゴーダチーズを3月に提供

J A 計根別青年部、女性部

青年部では、本年度も牛乳・乳製品の消費拡大やチーズが各家庭の食卓に並ぶことを願った普及活動を展開しております。その活動の一環として、青年部・女性部が合同で開催しているチーズ研修会も本年で十六年目を迎え、青年部員（若年層）や女性部員をメインに、チーズ作り体験を通じて乳製品の普及を呼び掛けているところです。

現在では、この「手作りゴーダチーズ」も組合員の皆様から好評を得ており、皆様のご要望に応えるべく、三月上旬を目途にとりまとめを予定しております。

また、チーズの数量には限りがあり、組合員さん限定での実施となりますので予めご了承願います。

（注）チーズのお申し込みは、三月にご案内するFAX送信後となりますので、事前のお申し込みはご容赦願います。



2時間にも及ぶ攪拌作業は「根気」が重要



チーズを容器に詰めたら機械でプレス



チーズを整え最終段階に...

## THE FRIEND CONNECTION

北村 篤(本別支部)  
S40.9.23生 40歳

- Q 1 . あなたの趣味は？  
A 1 . パチスロ（吉宗）  
Q 2 . あなたの特技は何ですか？  
A 2 . タイヤショベル!!でもこの冬に脱線したとか？  
Q 3 . 好みの芸能人は？  
A 3 . A I K O（コンサートに行きて～!!）  
Q 4 . 将来の目標は？  
A 4 . のほほ～んとした酪農経営  
Q 5 . あなたの夢は何ですか？  
A 5 . 壮（たけし）と亘（わたる）の兄弟経営  
Q 6 . 友達を紹介してください  
A 6 . 佐藤広光さんです。  
Q 7 . なぜ佐藤くんを選んだのですか？  
A 7 . 私の良き？先輩であり、この機会が最後だと思うから...



# シリーズ第23弾 逸品館

## “スノーモービル”



今月の逸品館は、この季節だからこそという逸品“スノーモービル”の紹介です。

また、このたびの取材に協力して頂いたのは、スノーモービルを通じて地域の仲間が集い、冬のモータースポーツを楽しむ“チーム黄昏”のメンバーです。メンバー自慢のスノーモービルは、それぞれが個性を持ち、その用途に合わせたチューニングによりモービルのポテンシャルが最大限に活かされています。さらに、モービルのメンテナンスから修理までメンバー全員が協力して行うなどの徹底ぶり、モービルに対する愛着も想像以上のものでした。

メンバーは「年齢を問わず、地元のみならずでモービルを楽しみ、時には焼肉で親睦を深めることもあり、これからも大切にしていきたい」と話していました。

これからも事故と怪我だけには十分注意され、スノーモービルと仲間を大切に北海道ならではのモータースポーツを楽しんでください。

忙しい時期にも関わらず取材にご協力して頂き、本当にありがとうございました。



## 部員や役職員との 親睦を深めた新年親睦会

～ J A 計根別女性部新年親睦会 ～



女性部では、部員間の親睦を深めることを目的として、一月二十日農協二F会議室にて毎年恒例となる新年親睦会を開いた。親睦会には、部員三十三名、農協役職員六名が参加。開会を告げる中垣副部長の挨拶では「本年より生産調整も行われ、厳しい情勢が続きますが、経費や生活費の見直しを行い頑張つて欲しい」と話された。来賓代表として斉藤代表監事からは「女性部も努力と工夫を重ね、消費拡大事業の原動力となつて欲しい」と新年度に期待を込めた挨拶を頂戴した。



開会挨拶：中垣副会長



祝杯：有原理事



来賓代表挨拶：斉藤代表監事



新年も女性部の活躍を期待して「乾杯。」

また、有原理事の乾杯により会食の時間を迎え、各テーブルでは料理と会話を楽しんだ。会食後は部員による「尻相撲」が企画され、参加者の熾烈な戦いが繰り広げられた。結果は、水沼和子さん（大成）が優勝、準優勝は笹島育子さん（大成）となり、大成地区が上位を独占した。最後に、参加者全員で会話やゲームを楽しんだ新年親睦会。部員や農協役職員との親睦を深め、有意義な時間となった。



惜しくも準優勝!!  
笹島育子さん（大成）



見事に優勝!!  
水沼和子さん（大成）



青葉 VS フレッシュ!! 勝敗は？



「尻相撲」が始まると各テーブルの視線も集中!!

# 介護福祉に対する想いを学ぶ

手つなぎの会 視察研修



手つなぎの会では、近隣で活躍する介護ヘルパーの活動内容を学ぼうと、一月二十七日会員十名で西春別デイサービス「すずらん」を訪問した。

すずらんは、代表の赤石さんが介護福祉を地域に根ざしたい」という一心で、自らの住宅を提供、昨年十二月に開所された。

活動状況は、地域の人々を対象に「みんなでにかく笑おう」と積極的に取り組まれ、介護会員からも「アットホームな感じがとても良いですよ」との感想を聞くことができた。

また、ここでの問題はヘルパー不足。人材の育成、確保が当面の課題となっていた。

この日の施設利用者は二名。利用者は「人が集まると何箇所にも分かれて、花札、カラオケ、百人一首などを楽しみ、とても賑やかだよ」と話し、施設に通うことをとても楽しみにしているようです。

最後に、このたびの視察では、高齢者が集いやすい環境づくりと地域の介護福祉に対する想いを学び、手つなぎの会の今後の取り組みに活かされることを期待します。



熱心に説明を聞く手つなぎの会員



施設や活動内容を話して頂いた横尾奈津子さん（所長）

# 第三十九回 全酪協会 ヨーロッパ酪農 視察ツアー

総務企画部 営農課 営農相談係  
主査 川 目 剛



スイス 美しい中世都市「ルツェルン」「フィヤークヴァトルシュテッター湖」前にて

【九月九日】

十九時三〇分田空港第一エ  
アターミナルに集合。チエック  
インした後、特別会議室にて結  
団式。二十一時五十五分発。パ  
リのエールフランス機で出発と  
なった。

【九月十日】

四時三〇分、十三時間余りの  
フライトを終えパリ・シャルル  
ドゴール空港に到着。ターミナ  
ルを出て一服後、乗り継ぎのた  
めに再度チエックイン。七時三  
十分発チューリッヒ行のエール  
フランス機で出発。

チューリッヒには九時三〇分  
に到着。バスに乗り換え、イン  
ターレーケンへと向かった。移  
動途中にバス運転手の計らいで  
古都・ルツェルンに立ち寄った。  
僅かな時間でしたが、湖畔を散  
策。中心街では土曜日というこ  
ともあり市が開かれていた。

その後、再びバスに乗車。山  
道を走り、夕方には宿泊先のメ  
トロポール・ホテル・インター  
ラーケンに到着。チエックイン  
してから部屋で一休み。近所の  
レストランで夕食をとった。こ  
の日の天候は一日を通じてさつ

ぱりしなかった。

【九月十一日】

七時三〇分ホテルを出発。雨  
の中バスで視察先の山岳地帯に  
あるチーズ小屋へと向かった。



スイス スイスアルプス「グロスシャイデッグ」村の  
チーズ小屋へ向かう途中にて

九時〇〇分、オットー・ポー

レン氏が経営するチーズ小屋に  
到着。手作りのエメンタールチ  
ーズ作りの実演を見学。ここで  
は、ドイツ人と国際結婚をした  
日本人女性の大竹さとみさん  
(群馬県水上温泉出身)が日本  
語で説明。ご主人も大学院生で  
日本語を話した。

チーズ作りは、前日の晩に搾  
った生乳と朝搾られた生乳であ  
り、一日約二五〇ℓの生乳から



スイス ユングフラウヨッホへの電車の始発駅、  
「グリンデルワルド」村のメインストリート  
(長野県の安曇村と姉妹都市です)

一個一〇kgほどのチーズを二個  
作る。チーズは市場に出回るこ  
とはなく、全て受注分とのこと  
だった。価格は一kg二十一〜二  
十三スイスフラン(約二千元)  
で販売。年間生産量は約三〇〇  
個であり、チーズ小屋は全部で  
四箇所。今年は、その小屋を七  
回移動した。説明を聞いた後、  
チーズを保存する小屋も見学、  
そのまま登山電車に乗るためグ  
リンデルワルト駅に向かった。  
十時三十二分グリンデルワ  
ルト発の登山電車に乗った。車窓  
から山岳酪農を見学しながらユ  
ングフラウヨッホへ。しかし、  
雨のため視界も悪く、景色を楽  
しむことができなかった。乗車  
途中、二回ほど電車を降りて展



オランダ「アムステルダム」中央駅  
東京駅のモデルとも言われていますが  
真偽のほどはさだかではありません。

望スペースに足を運んだが、残念ながらここでもガスに視界を遮られた。

ユングフラウヨツホ到着後、一時間余り時間をとったが、標高三、五〇〇mと高い所にあるため酸素が薄く、息切れをした。電車で下山途中も、酸素が薄く一団の顔に疲労の色が現れた。その後、クライネシャイデック駅周辺を散策し、再び電車でインターラーケンまで下山となった。

夕方、カジノの隣にあるレストランで民俗音楽を聴きながら名物のミートフォンドゥを食べた。

【九月十二日】

この日は、早朝六時に出発となったが今日も雨。ホテルで手配した朝食を食べながら、往路

とは別のルートによりバスでチューリッヒ空港へと向かった。ほぼ全域高速道路を走り、八時三〇分空港に到着。十時二〇分発のオランダ航空でアムステルダムへ。

十二時二〇分、オランダのスキポール空港へ到着。バスから風車を見学。アムステルダム市内のレストランでやや遅めの昼食となった。その後、国立博物館を見学し、空港近くのドリントソフィテルホテルエアポートにチェックイン。夕食後、タクシーでアムステルダム市内を見学した。

【九月十三日】

七時三〇分、バスでアムステルダムの東へ五〇kmほど離れたレリースタッド市郊外の畜産調査研究所(ワイボアフーベ農場)



オランダ「ワイボアフーベ実験農場」にて



オランダ「ワイボアフーベ」実験農場の牛舎

へ向けて出発。九時から同農場のベツィー・スラッグハウス氏による生産段階における衛生管理についての講義を受けた。その後、パウル・スナイダー氏に実験農場を案内して頂き、ロー



オランダ「ワイボアフーベ実験農場」にて「搾乳時の衛生管理」について講義を受けました(講師はベツィー・スラッグハウス氏)

コスト農場、ハイテク農場などを見学した。オランダの糞尿処理(散布)は、十年前まで一〇a当り二十三kgまでの窒素量だったが、ユーロの規制により、現在は十三kgまでに規制されていた。さらに、散布時期や散布方法も規制され、実際のスラリー散布もタンカーからホースを通じて草地の表面に流していくという手法であり、スラリーの拡散を抑え、臭気対策も徹底されていた。

十五時、ブロクランド牧場に到着。ここでは、経営主のピート氏は不在だったが、奥さん(ヨークさん)が対応。同牧場は一九七四年にユトレヒトからレリースタッドに入植。干拓地で総面積六〇ha、奥行き一km、幅六〇〇mの広大な草地で作物が栽培されており、タマネギや



オランダ 訪問した「レリースタッド」  
近郊の酪農家「ヴァンブロクラント」さん



オランダ「ヴァン プロクランド」さんの農場の牛

ジャガイモも作られていた。乳牛は一〇〇頭、子牛八〇頭、養豚九六〇頭を飼養。牛舎施設は、フリーストール、ミルキングパーラー(一〇頭W)。さらに、当牧場ではチーズ工房を併設しており、五〇〇t〜六〇〇tをチーズ、残り三〇〇t程度を乳業メーカーに出荷していた。また、チーズ作りで生産されるホエーも豚のエサに転用していた。ゴードチーズは一個十六〜二〇kg、一kgあたり四ユーロ(約五六〇円)で組合に出荷していた。

【九月十四日】

ホテルを七時に出発。九時三十分のエルフランス機にてパリに向かった。到着後は、バスでエツフェル塔を観光後、パリ・サンジェルマンのレストランにて昼食。午後からバスでモンパルナス駅に向かい、十五時五分発のフランスの新幹線TGVでブルターニュ地方のレンヌへ。十七時過ぎ、レンヌ駅からバスで七〇kmほど離れたサンマロに向かった。十九時にホテルオセアニアサンマロにチェックイン。歩いて城壁の中にあるレストランで夕食となった。



フランスヨーロッパ最大の酪農業ショー「レンヌ」の「SPACE2005」会場にて

【九月十五日】

八時、バスにてりレンヌで開催中のブルターニュ地方の共進会SPACE2005会場へ。ショー会場や牛舎、機械展示などを視察。昼食は、事務局の取り計らいでフランスの農協連合会会長の招待をうけた。その後、再度会場内を視察し、十四時三〇分、会場を後にした。



フランス「SPACE2005」会場での展示機械

十五時、乳業プラントを持つ農協(コラリス)を訪問。時間に制約があり工場視察は出来なかったが、代表のジヨセフ・ゴティエ氏に農協の概要や酪農・乳業情勢についての話を聞いた。十六時過ぎには出発し、バスで農場視察へ。



フランス「ブルターニュ」地方レンヌ近郊の「コラリス」酪農業協同組合を訪問。ここでは「アグリレ」のブランドで牛乳を販売

十六時三〇分、ブルターニュ地方の酪農家、アラン・オリバー・グロセット農場を訪問。同農場は、ホルスタイン七〇頭(一頭平均乳量八、五〇〇kg)と養豚を飼養。ブルターニュ地方では平均的な飼養規模であり、養豚・養鶏との複合経営もこの地方では一般的だった。昼は放牧、夜はフリーストール牛舎での舎飼い。ストールは、ウオーターベッドを設置していた。生産者手取り乳価は三〇ユーロ(約四十二円)。しかし、グロセット氏は「乳価は下がる一方だが、世界相場があるため、それ



フランス 海岸から2kmに立つ修道院「モンサンミッシェル」を遠くに望む



フランス 酪農の中心「レンヌ」市裁判所前にて

に対抗できる価格で生乳を供給しなければ酪農経営は成り立たないと考えている」とコメントした。また、「量よりも生産コストを低く抑えることに重点を置いている。衛生管理もしっかり実施しなくてはならない」と話した。ブルターニュ地方は、フリーストールが全体の七〇%を占めており、放牧もしていた。

【九月十六日】  
この日は強い風と雨。ホテルを九時に出発し、バスでモンサンミッシェル修道院へ。到着すると雨は上がっていたが、気温は低めだった。修道院観光後は、バスでレンヌへと向かい、その途中で時間があつたため、裁判所の庭園を見ることが出来た。十六時、レンヌからTGVで



フランス「パリ」市内 作家「ルソー」  
「ヴィクトルユーゴー」が埋葬されている  
「パンテオン」



フランス「パリ」市内 ナポレオンの戴冠式の行われた  
「ノートルダム」寺院の前にて

パリへ移動。十八時三〇分にパリに到着し、バスでホリデーソリパブリックにチェックイン。  
【九月十七日】  
ホテルを九時に出発。ルーブル美術館、ノートルダム寺院を見学。昼食も市内のレストラン

で済ませ、三越での買い物となった。それからギャラリー・ラファイエットデパートの食料品や牛乳・乳製品売り場に行った。夕方までコンコルド広場、シャンゼリゼ通りなどをバスの車窓から見学した。



フランス「パリ」最終日「シャルルドゴール空港」  
ゲートにて日本行きフライトを待ちます。

【九月十八日】  
九時四十五分に出発。シャルルドゴール空港までバスで移動。税関手続きなどを済ませ、十三時十五分発のエルフルانس機で空路成田へ。  
十九日には、十一時間三〇分のフライトを終え、無事成田に到着、解散となった。



# 繁殖管理の再点検

生産出荷調整に向けて、効率的な酪農経営を行い、所得向上を図る必要があります。繁殖管理は1頭当たり生産効率を向上させるために欠かせないものです。我が家の繁殖管理はうまくいっているか、もう一度確認してみませんか？

## 1. 繁殖管理の状況をチェックしましょう

初産月齢	2.3以下	2.4~	2.5~	2.6~	3.0~	3.2以上	初産月齢平均	92年平均
月齢	3	5	2	2		1	25	
分娩回	10	10	30	30	10	20	420	401
3産	11	18	18	9	36	18	420	419
4産以上	11	18		36		45	443	429
平均又は合計	32	16	16	25	16	28	428	412

分娩間隔の現在の平均 ← これからの平均 (355~395日以内)

図1 分娩間隔(検定成績表(牛群))

- 分娩間隔(空胎日数)は適正範囲か？
- 生乳生産において、最も効率のよい分娩間隔は、11~13か月(335~395日)、すなわち空胎日数55日~115日の間にあると言われ、これを過ぎるほど経営へ悪影響を及ぼします。
- 初回授精開始は50~60日か？
- 授精回数3回以上の割合は増えていないか？
- 「授精報告」の分娩後日数100日以上頭数は増えていないか？
- 「個体累計成績」の「長未授」(長期未授精牛=分娩後100日以上受精報告なし)はいないか？

## 2. 確実な授精を行うために

授精後の再発情のチェックと、妊娠鑑定を必ず行う

授精が成功したか把握すれば、その後の対策をより早く行えます。また乾乳時期を確定でき、よりよい乾乳牛管理を行うことで次の繁殖にも有効です。

記録を取り、見やすく管理する

繁殖状況を常に把握しておくには、分娩、授精、妊娠鑑定など、こまめに記録を取ることが必要です。また見やすいところに置いておくことで、家族だけでなく授精師さんや獣医さんにも繁殖状況を伝えられます。

牛群	授精回数	初回授精	空胎日数					乾乳日数			初産月齢							
			平均	44	45	46	47	平均	39	40		41						
1	2.3	50	2	130			100	75		33	67	105						
2	3.0	50	4	165			25	75				103						
3	2.1		1	162				100	66			99						
4	2.0	25	33	104			50	50	74	25	75	112						
5	1.1		86					56				105						
6	1.4		82				50	50	101	39	67	104						
7	2.3	33		2	174				100	103		100						
8	1.5	13	40	99			4	115	25	25	25	59	100					
9	1.7	8	40	82				5	135	40	60	57	100					
10	2.3	40	100	110				3	122	33	33	58	100					
11	2	40		70						70	60	40	112					
12	1			101						39	50	50	104					
13	4	60								161			100					
14	2	25	33	33				25	145	4	24	20	52	69	3	46	31	105

③授精回数 ②初回授精 ①空胎日数  
開始日数

図2 繁殖管理(検定成績表(牛群))

乳量階層	1産					2産以上				
	49日以下	50日~	100日~	200日~	300日以上	49日以下	50日~	100日~	200日~	300日以上
0.5以下										
0.5	6	①				1	①			
0.5	4									
0.5	6									
0.5	6									
0.5	13									
1.0	6									
1.5以下	1									
平均乳量	18.6		32.1	22.5	21.4	37.2	41.9	34.2	21.8	18.9
乳脂肪	3.36		3.04	4.19	4.49	4.63	4.21	4.04	4.91	5.35
乳蛋白	3.00		3.51	3.59	3.70	2.90	2.92	3.32	3.72	4.07
体細胞数(万)	4.00		9.11	9.06	9.31	8.56	8.37	6.74	6.03	9.50
リニウスコア	4.0		6	9	9	4	53	15	49	36
コブ乳量(%)	4.0		2.0	2.5	3.0	1.5	4.5	3.0	3.8	5.0
飼料	5.5		14.2	9.9	10.3	16.0	17.1	15.0	10.1	10.5

図3 検定日乳量階層(検定成績表(牛群))

## 3. 分娩後の牛群の栄養状態をチェック

分娩後「50日~」でピークがあるか？

乳量の低すぎる牛がないか？期待通りか？

「49日以下」「50日~」で乳脂肪4.5以上、乳蛋白3.0以下の牛がないか？

「49日以下」「50日~」で体細胞数が高くないか？

これらに当てはまる場合、エネルギーが足りず、体脂肪を動員している可能性(=周産期病のおそれ)があります。その後の繁殖管理にも悪影響を及ぼすので、原因を発見し対策を考える必要があります。詳しくは普及センターまでお問い合わせ下さい。

# 飲酒運転事故

## 2日間で5人死亡



年明け早々、飲酒運転に絡む事故が多発し、5人の方が亡くなっています。  
過去3か年の1月中の飲酒運転に絡む事故死者は6人ですが、今年は、元旦、2日の両日で、死者5人と異常な状態となっております。  
職場、地域、家庭等で「飲酒運転をしない、させない」を徹底しましょう。

# 飲酒運転 <sup>イコール</sup> 犯罪

## 平成17年中の飲酒運転逮捕者



## 知っていますか？

### 酒気帯び運転

1年以下の懲役又は30万円以下の罰金

### 酒酔い運転

3年以下の懲役又は50万円以下の罰金

### 飲酒検知拒否

30万円以下の罰金

### 酒に酔った状態で人身事故を起こすと 危険運転致死傷罪

危険運転致傷 15年以下の懲役

危険運転致死 1年以上の有期懲役

### 自分で運転しなくても

運転する人に酒を飲ませた人

飲酒した人に運転させた人

等も運転者同様に処罰され、免許取消や免許停止の処分を受けることになります。

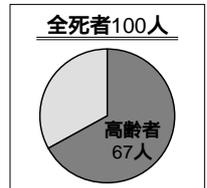
## お知らせ

# 高齢者の交通事故防止のポイント！

### 歩行者・自転車の安全ポイント！

～歩行・自転車乗車中の死者100人、うち高齢者が67人～

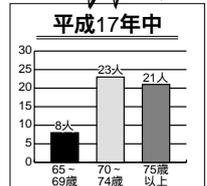
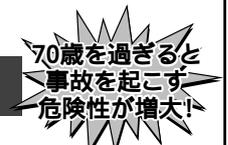
用件は早く済ませ、明るいうちに帰宅する  
夜間外出する時は、夜光反射材を身に付ける  
信号機や横断歩道のあるところを横断する



### 運転者の安全ポイント！

～高齢運転者による死亡事故は52人～  
(高齢運転者自身の事故を含む)

身体機能の衰えを自覚し、余裕のある運転をする  
交差点では必ず減速し、安全確認を徹底する  
夕暮れ、夜間、降雨時の運転はできるだけ控える



「今の電話機は使えなくなる」  
「電話代が安くなる」等  
の虚偽のセールストークで、電話機等のリースを訪問販売する悪質な事業者によるトラブルが増えています。



## 悪質な電話機等リースの 訪問販売に注意!

個人事業者の場合も、営業のためになされた取引は、クーリング・オフ等をすることができません。

契約をする際は、複数業者に見積りを取るなど、じっくりと考えてから契約をするようにしてください。

 経済産業省 /  中小企業庁

**困ったときは、お早めに下記の相談窓口へ**

中標津町消費者協会 電話0153-73-3111 内218 (役場内)

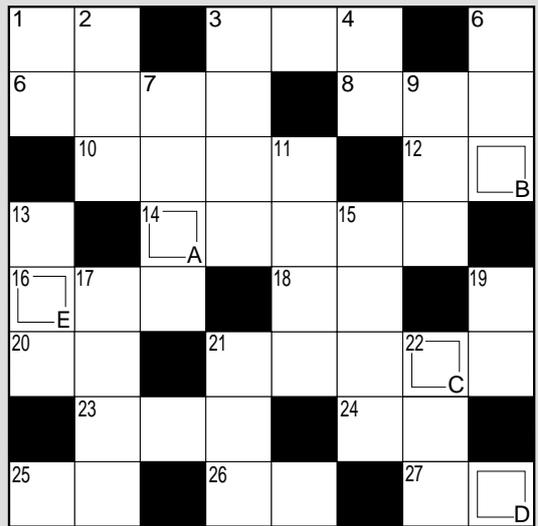
【タテのカギ】

- 1 本物ではない
- 2 電力の単位
- 3 千手、マリア、馬頭
- 4 アイロンで伸ばす
- 5 コットン
- 7 女性用のシャツ
- 9 大名の家臣の最高責任者
- 11 椅子やスツール
- 13 神社の社殿
- 15 ひとつしかないこと
- 17 地域や店では味はさまざま
- 19 ハワイの花の首飾り
- 21 じっくり煮込む時の火加減
- 22 スノーマンとは、雪でできたこれのこと

【ヨコのカギ】

- 1 ガーデン
- 3 おでんにつける香辛料
- 6 明日は立春
- 8 みそ汁の具にも使う海藻
- 10 大事にしている貴重なもの
- 12 「より証拠」
- 14 ミカンの代表的な品種
- 16 干し
- 18 ボートのオール
- 20 マニュアル車の第1速
- 21 北海道札幌のこの建物は有名
- 23 出口を探してうろろうろする道
- 24 やかんや鍋の取っ手
- 25 英語の1
- 26 最下位
- 27 これを見ると鳩は喜び、鬼は逃げる

クロスワードパズル



● 正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。

【応募方法】 左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、企画課までFAX（78-2556）お願いします。

【締め切り】 平成18年2月15日まで  
 当選者の発表は「けねべつ」3月号誌上

クロスワードパズル12・1月号の答え

抽選の結果下記の方が当選いたしました。すてきなプレゼントを差し上げます。  
 企画振興係でお受け取り下さい。

12月号の答え

クリスマス

- 大矢根礼実さん 新井由美子さん
- 滝本五四子さん 西丸 重吉さん
- 小原喜美恵さん

1月号の答え

カガミモチ

- 一木千代子さん 遠藤 守さん
- 柵木 知也さん 漆原三子子さん
- 河本 聖さん



きりとり線

クロスワードパズル

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

答え

A  B  C  D  E

きりとり線

あとかき

二月に入り、寒さも一層厳しさを増してきました。また、時より降り続く雪や風に脅かせながら、除雪作業などにも苦労されていることかと思われまます。

さて、先月開催された次期生乳安定生産対策説明会では、組合員の皆様も新年度に向けての大きな選択を迫られたことと思います。一月末日には、とりまとめが終了し、農協や道酪対などでは集計作業に追われる日々が続きます、今後の対策方針が気になるところであります。

また、農協内部においても厳しい酪農情勢を乗り越えるべく、各種事業の見直しや経費の削減などが求められています。第七次中长期計画についても十八年度が基準年となり、地域農業や農協の発展を目指して、それぞれのセクションに積極的な取り組みが期待される所です。

新年早々明るい話題が少ない今日この頃ですが、体が資本の酪農産業ですから、健康管理や交通事故には十分注意され、病気や怪我などとは無縁の年となることを願います。



## “あしあと”

昨年10月30日、高橋節郎前組合長が自分史“あしあと”を発行した。本書は、自らの生い立ちから酪農学園との出会い、さらに組合長として農協運動へ情熱を燃やした35年間のことが記されていました。とても興味深い内容で当時を思わせる一冊です。非売品ではありますが何かの機会に是非一度読んでみてはいかがでしょうか？



編集 / 計根別農業協同組合 総務企画部 企画振興課 企画振興係  
発行日 / 平成18年2月1日



一月も終わり、早二月になるうとしていますが、次年度牛乳生産に向けての対応に苦慮しております。従来であれば、この時期は次年度加工原料乳の補給金単価、関連対策の要請に向けて力を注いでいる筈ですが、今は減産に向けての決断に悩み、果たしてどれだけの生産枠があるのか、先行きの不安を感じておられることと思います。

先日、生産者の皆様に二つの生産タイプを選択して頂きましたところ、Bタイプが5%前後と聞いております。全道的にも一割に満たない状況が予想され、今後の新たな対応、方法を考えなければなりません。いずれにしても、減産は避けられないものの、全道酪農家の苦悩が尽きない毎

日を見ると、最良の方法により一致団結しての取り組みが不可欠です。

又、昨年末に今年度の営農計画を立てて現在進行中ですが、生産乳量が変わりますと再協議が必要となります。当面は、計画に沿った営農を続けて頂きますが、変わらないのは、酪農環境が厳しくなっている事を深刻に受け止め、より一層の経費削減、改善に努めることです。そして、生活面でも家族皆様が話し合いの上で、長期的な生活設計を立てながら、身の丈に応じた生活面での改善も心掛けて、この難局を切り抜けなければなりません。

平成十八年二月一日 瀨織 成喜